

## 北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和7年度 第5回権利擁護部会

開催日時 令和8年12月3日(水) 10:00~11:30

### 参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市福祉課障がい福祉係、中野市高齢者支援課、中野市社会福祉協議会、飯山市保健福祉課障がい福祉係、飯山市地域包括支援センター、飯山市社会福祉協議会、山ノ内町健康福祉課福祉係、山ノ内町健康福祉課介護支援係、山ノ内町社会福祉協議会、木島平村民生課健康福祉係、木島平村地域包括支援センター、木島平村社会福祉協議会、野沢温泉村民生課福祉係、野沢温泉村社会福祉協議会、栄村民生課健康支援係、栄村社会福祉協議会、ひまわり長野、リーガルサポートながの、ぽあとなあながの、北信圏域権利擁護センター、のぞみの郷高社、常岩の里ながみね、未来工房つむぎ、クローバー、北信圏域障害者総合相談支援センター

### 本日のテーマ、課題等

①開会 ②研修・啓発PJによる研修会 ③令和7年度第2回 北信地域障がい福祉自立支援協議会の報告  
④長野県権利擁護部会の報告 ⑤各プロジェクト(PJ)活動報告 ⑥閉会

### 会議で話し合われた事

(1) 研修・啓発PJによる研修会

テーマ:「ACPを学ぼう」

北信総合病院地域医療連携課 看護師を講師に迎え、ACP(アドバンス・ケア・プランニング/人生会議)に関する研修を実施しました。

研修では、

- ACPの基本的な考え方
- 人生の最終段階における意思決定支援のあり方
- 日常支援の中でACPを実践する視点

について、カードゲームで実体験を通じてACPを学びました。

参加者からは「ACPを地域に広めるにはどうすればよいか」との質問があり、講師からは、日々の支援会議や訪問、電話相談など、一つ一つの関わりがACPにつながる。まずは“やってみる”ことが大切。との助言があり、ACPは特別な取組ではなく日常支援の延長にあることを共有しました。

(2) 令和7年度第2回 北信地域障がい福祉自立支援協議会の報告

部会長より、協議会本会議の内容が報告されました。

- 新たな放課後等デイサービス事業所の参画承認
- 各部会からの活動報告
- 「就労選択支援」に関する体制整備の課題提起

特に、令和7年10月より開始された就労選択支援について、圏域内に該当事業所がない現状を踏まえ、地域としての体制整備が今後の重要課題であることが確認されました。

(3) 長野県権利擁護部会の報告

県部会で共有された虐待疑い事案の概要が報告されました。福祉分野だけでなく労働関係機関との連携が必要となる事案であり、

- 市町村間での対応経験値の差
- 初動対応フローの整理
- 事例検討の継続的实施

など、圏域全体での支援力向上の重要性が共有されました。

#### (4) 各プロジェクト (PJ) 活動報告

##### ■ 啓発・研修PJ

- 寸劇を活用した高齢者サロンでの啓発活動を実施
- ACP や成年後見制度に関する質問が多数寄せられた
- 動画化など新たな啓発方法の検討

来年度は、成年後見制度に関する部会全体研修の実施案も提案されました。

##### ■ 虐待防止PJ

- 市町村から虐待通報事例の共有
- 家族間の意向対立による支援調整の難しさを確認
- 1月開催予定の虐待防止研修会内容の最終確認

##### ■ 差別解消運営PJ

- 今年度は新たな差別事案の報告はなし
- 啓発紙やアンケート内容の見直しを実施予定